

お施主様用

フオンターナ  
アーチ  
取扱説明書

お買い求めいただきありがとうございます

コット ベネット フオンターナ

Cotto Veneto Fontana / アーチ

イタリア製 特殊加工大理石(Cotto Veneto)で仕上げた立水栓です。

安全に末永くお使いいただく為に下記の取扱説明書をよくご覧の上ご使用ください。

また、この取扱説明書はお読みになった後も、お使いになる方がいつでも見ることできる所に大切に保管してください。

## ご使用にあたって

- 寒冷地仕様ではございませんので、凍結のある環境では水抜きや保温などの対策が必要となります。
- 立水栓に強い衝撃を与えたり、継続的に無理な力を加えないでください。  
破損・ケガ・漏水・隣接する建物や家財に損害を発生させるおそれがございます。  
また、万一破損された場合は補修が困難となります。
- 躯体内部は発泡ポリスチレンですので、ビス等を打込んで他の器具等を取付けないでください。
- 長期間ご使用されない場合は、水道の元栓を閉めてください。
- 蛇口をお求めの際にはPJ 1/2 に対応した横水栓をお選びください。  
取付ける前に必ず水道の元栓を開いて、立水栓の配管内に溜まった異物を取り除いてください。  
取付方法につきましては蛇口に付属の取扱説明書をご確認ください。
- 補助蛇口をご使用されない場合は、付属の化粧キャップを取り付けてください。その際は水漏れ防止の為、シールテープを適量巻き、無理な力が加わらないように、配管に対して垂直に取り付けてください。  
取り付け後、水漏れが無いか確認してください。
- 上記事項を厳守いただけなかった場合は、いかなる製品トラブルにつきましても保証出来ませんのでご了承ください。

## 点検とお手入れ

- 水漏れや本体に異常がないか定期的にご確認ください。
- 経年変化等による表面の汚れが気になる場合は、市販の石材用防汚剤等を塗布してください。  
ご使用前に塗布していただくと効果的です。
- 大理石は表情豊かな石種である反面、デリケートな石種になります。酸性洗剤での洗浄や、金属系ワイヤーブラシ等を使ったお手入れはお避けください。中性洗剤での雑巾がけや、柔らかいブラシでのお手入れをおすすめします。
- 表面に白華現象が現れた場合は硬毛のブラシで水洗いしてください。落ちない場合は市販の白華除去剤をお使いください。
- セメント系モルタルや目地材を使っていますので、融雪剤等の強い塩分との接触は避けてください。  
大理石の剥離や目地材にヒビが入るなどの原因となります。付着した際は中性洗剤で洗い落としてください。

お問い合わせ

<http://www.onlyoneclub.jp>

## セット内容

施工開始前に下記の梱包内容をご確認ください。



施工方法  
(本紙)



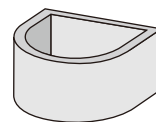
取扱説明書  
(お施主様に  
お渡し願います)



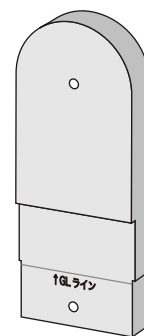
排水目皿  
VU-40 専用



補助蛇口取付部  
化粧キャップ



パン

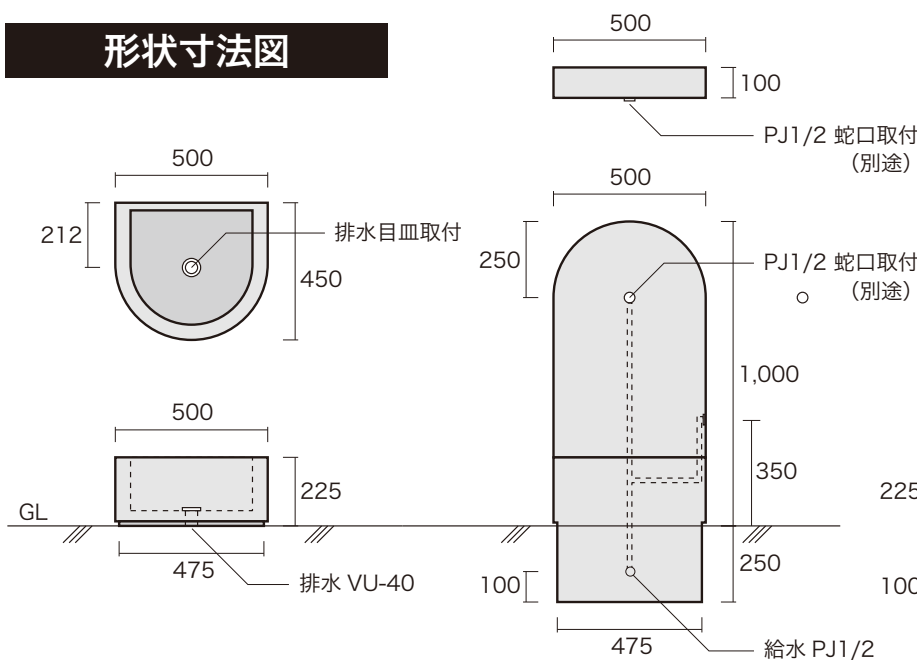


本体

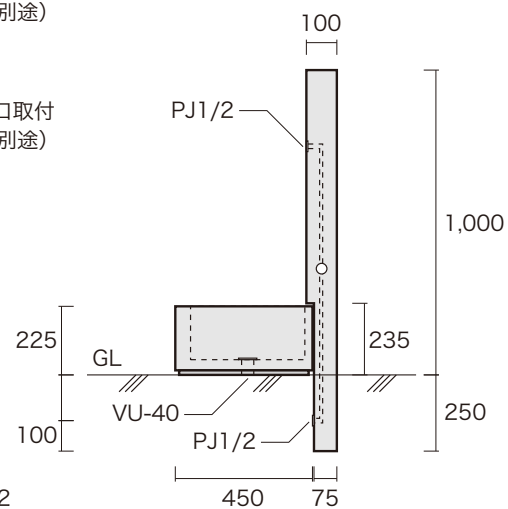
※ 下記の部材及び、工具等をご用意ください。

- 蛇口 (PJ1/2 対応の横水栓)
- 補助蛇口 (PJ1/2 対応の横水栓)
- 給水管 (VP-13・ソケットに接続)
- 排水管 (VU-40・排水目皿と接着)
- クラッシュラン (砕石)
- コンクリート
- 接着用セメントモルタル
- シリコン系コーキング材

## 形状寸法図



## 施工断面図



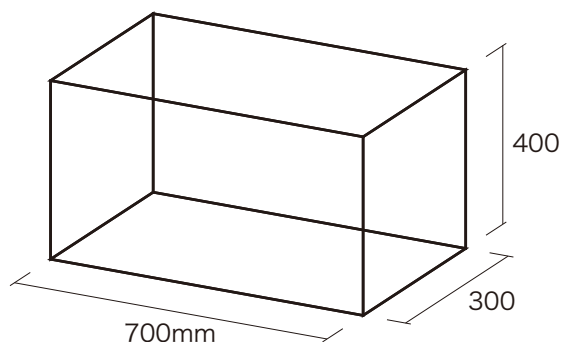
## ご注意ください。

- 設置予定の場所に正しく納まるか施工前に立水栓のサイズをご確認ください。
- 埋込深さは本体とパンの目地が合うように設定しておりますので、施工方法の厳守をお願い致します。
- デリケートな石種ですので、施工の際は養生をするなどして、汚れや傷等が付かないよう対策をおこなってください。
- 躯体内部は発泡ポリスチレンの為、ビスやアンカーを打込む事は出来ません。既存の壁などに固定せず、独立した基礎を打込んでください。漏水の発見が遅れる原因にもなります。

# 別紙の取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください

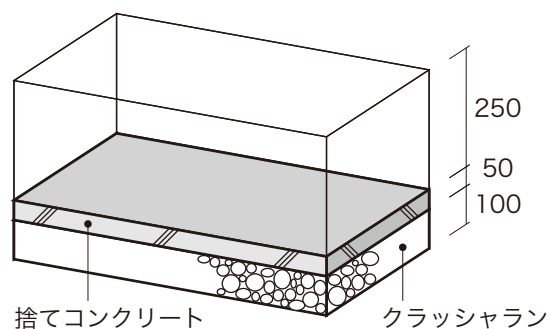
## 施工方法

### 1 本体基礎の床掘り



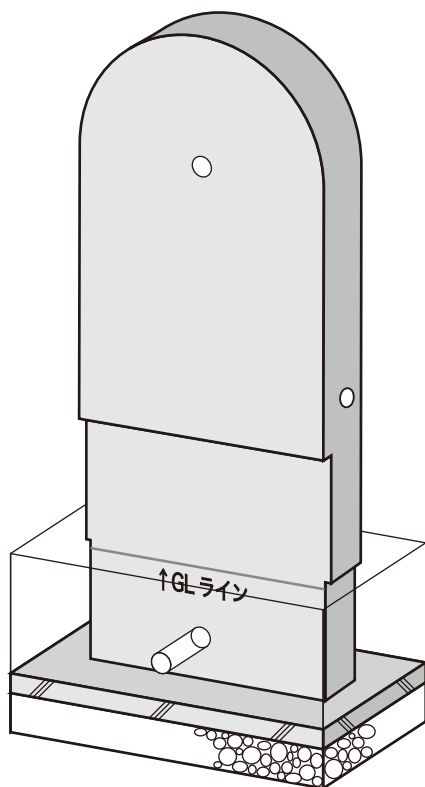
隣接する建物と 50mm 以上のクリアランスをとって上記サイズを掘ってください。

### 2 本体のベース作り



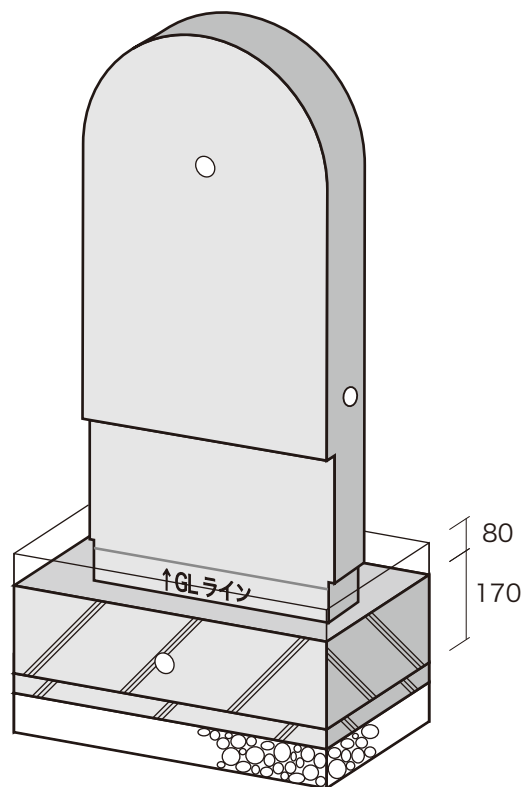
クラッシュランは十分に転圧し、本体の基礎となる捨てコンクリートは設計高さになるよう水平に打込んでください。

### 3 給水管の接続



本体に明記した GL ラインと現場の GL 面が合うよう設置し、本体に埋込まれた VP-13 ソケットに給水管を接続してください。

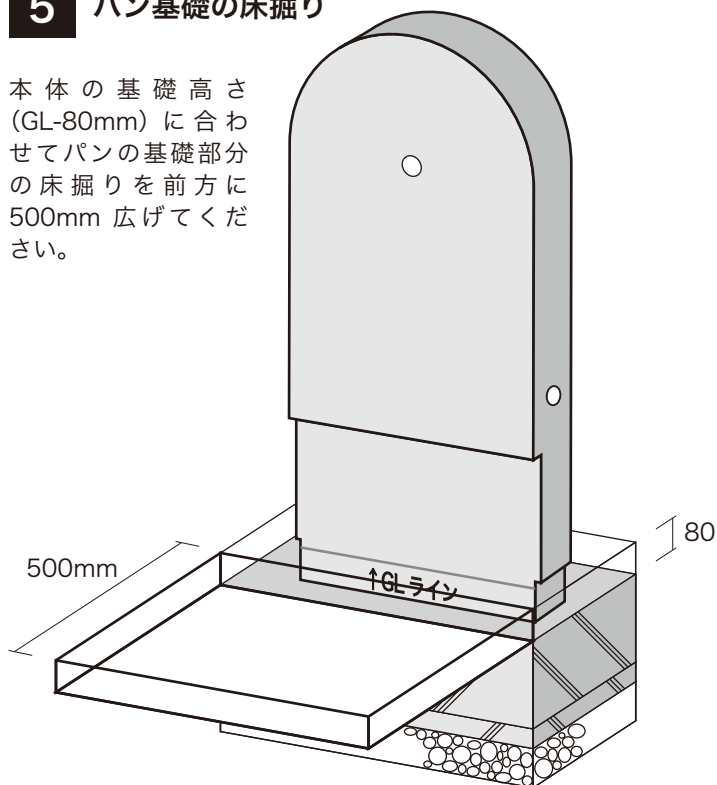
### 4 本体基礎のコンクリート打設



本体の垂直を確認し、基礎コンクリートを GL 面より 80mm 低くなるよう打込んでください。

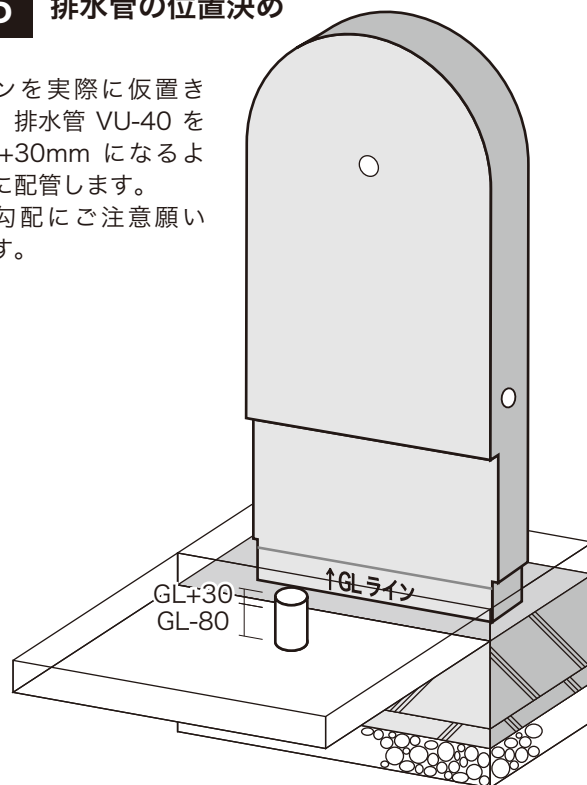
**5** パン基礎の床掘り

本体の基礎高さ (GL-80mm) に合わせてパンの基礎部分の床掘りを前方に500mm 広げてください。



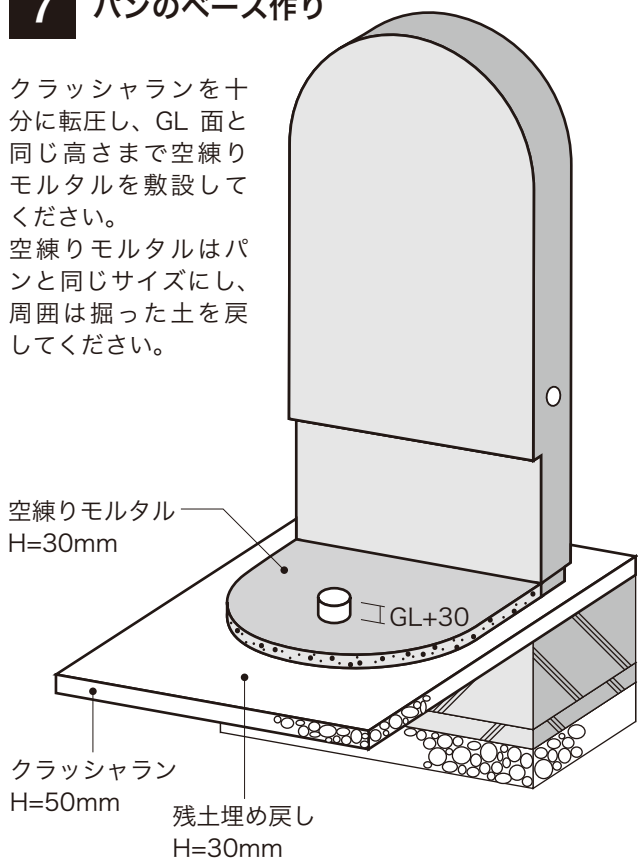
**6** 排水管の位置決め

パンを実際に仮置きし、排水管 VU-40 を GL+30mm になるように配管します。水勾配にご注意願います。



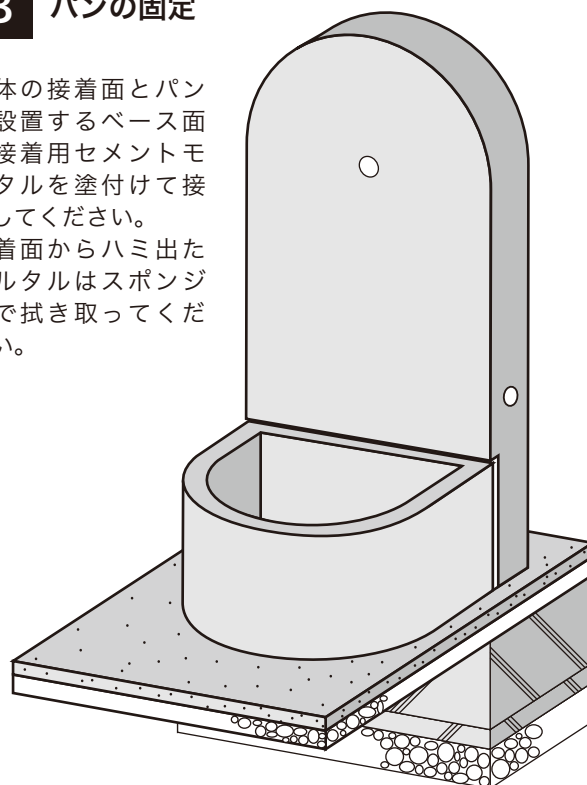
**7** パンのベース作り

クラッシュランを十分に転圧し、GL 面と同じ高さまで空練りモルタルを敷設してください。空練りモルタルはパンと同じサイズにし、周囲は掘った土を戻してください。



**8** パンの固定

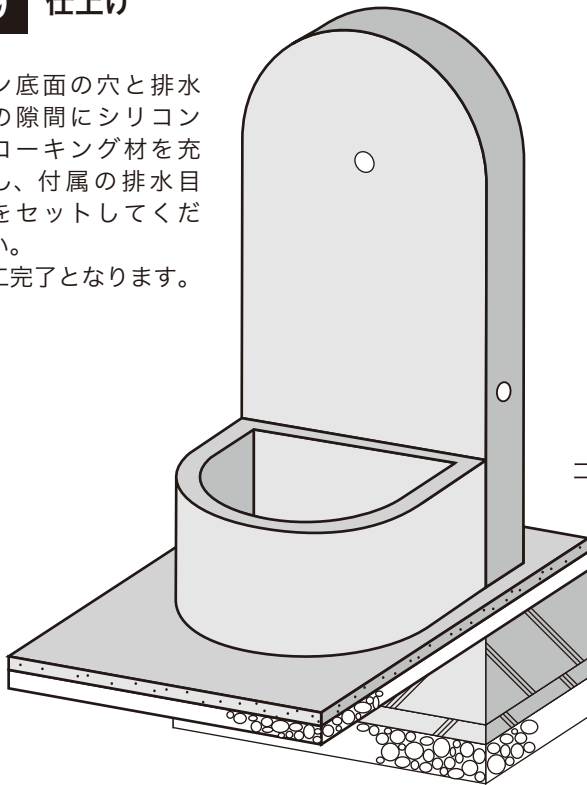
本体の接着面とパンを設置するベース面に接着用セメントモルタルを塗付けて接着してください。接着面からハミ出たモルタルはスポンジ等で拭き取ってください。



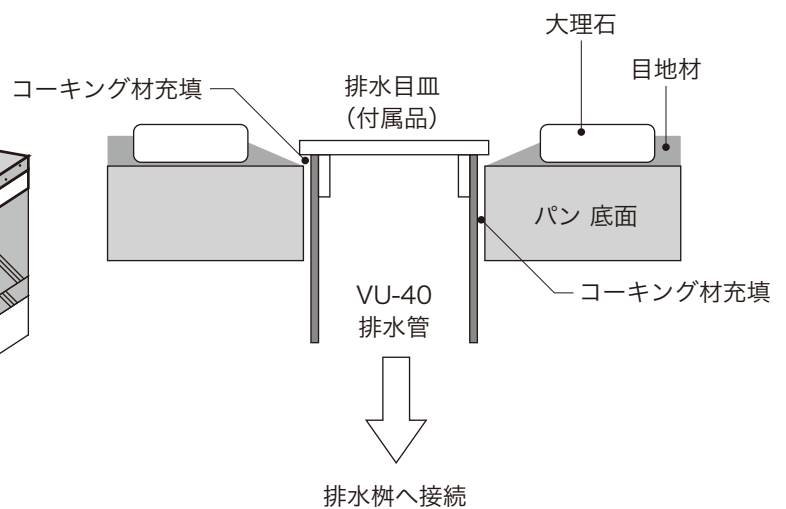
# 別紙の取扱説明書は必ずお施主様にお渡しください

## 9 仕上げ

パン底面の穴と排水管の隙間にシリコン系コーキング材を充填し、付属の排水目皿をセットしてください。  
施工完了となります。



### 排水口 断面拡大

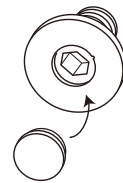


## 10 蛇口、補助蛇口の取付

蛇口、補助蛇口は付属していませんので別途ご用意ください。

PJ1/2に対応した横水栓でしたら接続できますので、取付方法等はお求めになられた蛇口の取扱説明書をご確認ください。  
取付ける前に必ず水道の元栓を開いて、立水栓の配管内に溜まった異物を取り除いてください。

補助蛇口をご使用されない場合は、付属の化粧キャップを取り付けてください。  
その際は水漏れ防止の為、シールテープを適量巻き、無理な力が加わらないように、配管に対して垂直に取り付けてください。取り付け後、水漏れが無いか確認してください。



### ご注意ください。

- 寒冷地仕様ではございませんので、凍結のある環境では水抜きや保温などの対策が必要となります。  
長期間ご使用にならない場合は水道の元栓を締めてください。
- 強い衝撃を与えたり、継続的に無理な力を加えないでください。万一破損された場合は補修が困難となります。  
また、躯体内部は発泡ポリスチレンですので、ビス等を打込むことはできません。

**お施主様にもご注意をお伝えいただいたうえ、同包の取扱説明書をお渡し願います**